

仙台市電開業90年イベント「写真と水彩画で見る今昔物語展」 「あの頃の市電と私たち」を実施します

仙台市電は大正15年11月25日に開業し、半世紀の間市民の足として活躍しました。開業から90年という節目を記念し、企画展とトークイベントを実施します。

市電が走っていた懐かしい仙台の風景とともに、街の移り変わりをぜひご覧ください。

1 写真と水彩画で見る今昔物語展

(1) 期間 11月19日(土)～30日(水) 午前10時～午後4時

*21日、24日、28日は休館

(2) 場所 仙台市電保存館(太白区富沢字中河原2-1 地下鉄富沢車両基地内)

*入場無料

(3) 内容

市電が走っていた当時の昭和49年～51年ごろの写真(庄子喜隆氏^{※1}撮影)と、現在の同じ場所の水彩画(柴田治氏^{※2}制作)を並べて展示します。



1974(昭和49)年の東一番丁



2016(平成28)年の東一番丁

2 トークイベント「あの頃の市電と私たち」

(1) 日時 11月27日(日) 午後1時半～3時

*「あらフェス2016 in 荒井車両基地」(別紙参照)のプログラムの1つとして開催

(2) 場所 地下鉄東西線荒井車両基地内 管理棟

(3) 内容

①市電の写真や映像の解説(庄子喜隆氏) *電子ピアノとバイオリンの演奏付き

②昭和初期～中期のラジオ歌謡の合唱(仙台ラジオ歌謡研究会)

※1 庄子 喜隆(しょうじ・よしたか)氏

1957年仙台市生まれ。宮城野区原町にて「有限会社仙章堂」経営。印章彫刻マイスター。2014年河北書道展・篆刻の部「河北賞」受賞。学生時代より市電、街並み、木造校舎を写真で記録している

※2 柴田 治(しばた・おさむ)氏

1990年東京芸術大学大学院建築科修了。2008年青葉区にアトリエ光彩舎を設立・主宰。日本水彩画会会友、宮城水彩画会会員、宮城県芸術協会会員